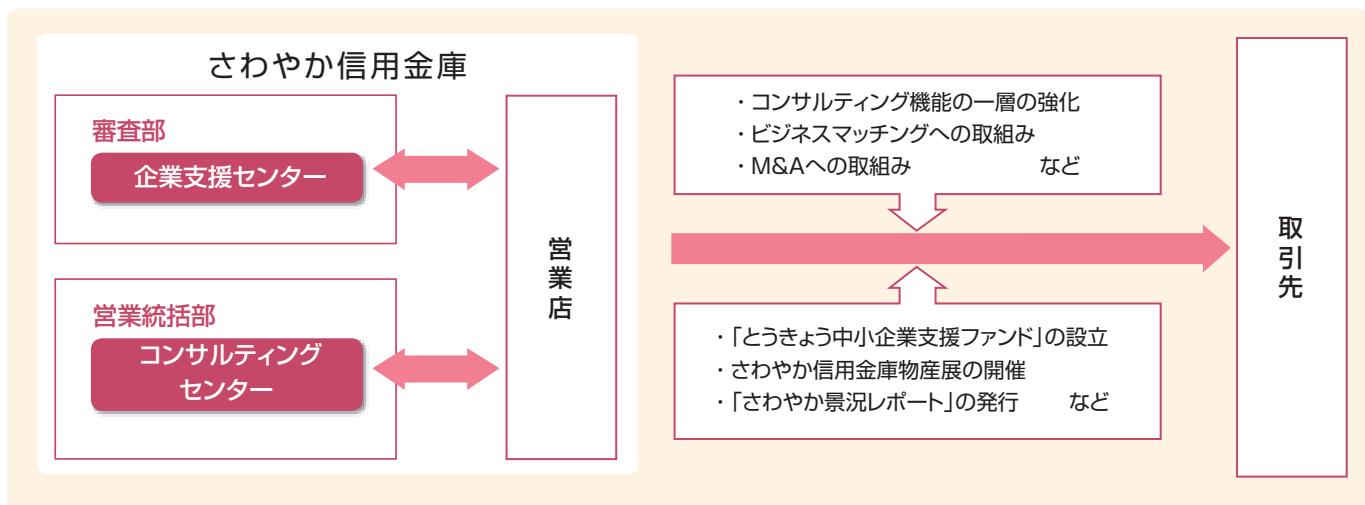




経営改善支援及び地域活性化のための取組みについて

当金庫は、中小企業専門の地域金融機関として資金供給者の役割を果たすとともに、地元の中小企業等に対する経営支援や地域経済の活性化に貢献するため地域密着型金融を推進しております。

1 中小企業の経営支援に関する態勢整備



2 中小企業の経営支援に関する取組み状況

(1) 創業・新事業支援

創業・新事業支援融資実績 平成27年度 127件 741百万円

(2) ビジネスマッチングの取組み

異業種との交流やビジネスマッチングを目的として、ビジネスフェアを開催しております。

また、当金庫のホームページにて、中小企業の持つ商品・サービス・技術等の情報を発信し、ビジネスマッチングの機会を創出しております。



ビジネスマッチング

(3) 東南アジア (ベトナム) 産業視察 (平成27年7月19日~22日)

東南アジアへの海外進出などを目指す取引先企業への支援のため、ベトナムのホーチミンへお客さまに同行して現地視察をまいりました。

ベトナムへは積極的に製造業等の中小企業が進出しており、今後の海外展開を検討しているお客さまを支援いたしております。



海外進出企業産業視察研修

(4) 内外情勢調査会さわやか支部講演会活動(帝国ホテル)

開催日	演題と講師	参加者
5月15日	「税制改革とその効果について」 政府税制調査会会長 中里 実氏	61
7月10日	「中国の台頭と日米関係」 時事通信社解説委員 明石 和康氏	58
9月10日	「KONISHIKIが見た日本」 大相撲元大関 KONISHIKI氏	57
11月9日	「これからの防災・危機管理」 防災システム研究所 山村 武彦氏	61
1月25日	「日本経済再生への期待と不安」 京都大学こころの未来研究センター特任教授 佐伯 啓思氏	63
3月10日	「日本語の科学が世界を変える」 科学ジャーナリスト 松尾 義之氏	62

(5) コンサルティング機能の一層の強化

①業務連携

- 相続や生前贈与について聞きたい。
- 国や公的機関が行う中小企業支援策を活用したい。
- 事業承継について相談したい。
- 海外でのビジネス展開についての情報が欲しい。また相談もしたい。
- 税金等について相談したい。
- 他社とのビジネスマッチングがしたい。
- 後継者がいないため廃業も考えたが、出来ればどこかに事業を譲渡したい。
- 学生のインターンシップを受け入れたい。
- 自社商品について技術的な相談をしたい。

これらの問題解決を図るため、当金庫は次の機関と連携をしております。

国立大学法人 東京大学 産学連携本部
地方独立行政法人 東京都立産業技術研究センター
独立行政法人 中小企業基盤整備機構(関東本部)
株式会社 商工組合中央金庫
東京商工会議所 株式会社 タナベ経営
信金キャピタル株式会社
株式会社 日本M&Aセンター
株式会社 スタッフコンサルティング

日本公認会計士協会東京会
東京税理士会
公益財団法人大田区産業振興協会
聖心女子大学
産業技術大学院大学
全日本不動産協会東京都本部
TKC東京中央会
提携している弁護士・税理士等



産業技術大学院大学との
産学連携協力に関する協定の締結



公益社団法人全日本不動産協会
東京都本部との協定の締結



TKC東京中央会と
「中小企業の経営力強化に向けた覚書」を締結

②コンサルティング能力の強化

地域密着型金融を推進するためには、「人材育成」が不可欠であります。そのため、当金庫は職員の公的資格の取得を奨励しています。

● 主な公的資格取得者数(保有者数含む)

(平成28年3月31日現在)

中小企業診断士 21名	社会保険労務士 7名	宅地建物取引士 102名	FP技能検定1級 19名	FP技能検定2級 485名
CFP 9名	AFP 38名	日商簿記1級 4名	日商簿記2級 152名	マンション管理士 4名
管理業務主任者 16名	その他(行政書士他) 6名			計 863名(平成26年度860名)



経営改善支援及び地域活性化のための取組みについて

(6) 第11回ビジネスフェアと 第6回さわやか信用金庫物産展を開催

平成27年6月12日 大田区産業プラザPio1階大展示場ホール

第11回ビジネスフェアでは、経済産業省関東経済産業局、独立行政法人中小企業基盤整備機構関東本部、東京商工会議所大田支部、一般社団法人東京都信用金庫協会、東京新聞、信金中央金庫の皆さまのご後援をいただき、お客さまの交流ビジネスチャンス拡大の「場」として盛り上がりました。(出展企業78社、来場者2,200人)

第6回さわやか信用金庫物産展では、「今年も感動 地元銘品」をテーマとして、お客さまにお買い物をお楽しみいただきました。(出展56店、来場者3,200人)

平成28年度も6月7日に第12回ビジネスフェアと第7回さわやか信用金庫物産展を開催いたしました。



ビジネスフェア



さわやか信用金庫物産展

(7) さわやか塾

さわやか塾では、年間6回の勉強会、経営情報誌、無料経営相談会などを通じて、次世代を担う若手経営者の方に対して経営手法、ノウハウ等を体系的に身につけるサポートや、異業種交流の場をご提供させていただいております。

平成24年度から開始し、延べ91名の卒業生を輩出し、平成28年5月より第5期が27名でスタートしております。



さわやか塾

(8) 「経営者保証に関するガイドライン」

当金庫は、中小企業の経営者の皆さまとの間で、新たに保証契約を締結する場合や既存の保証契約を見直す場合、またはお客さまから「経営者保証に関するガイドライン」に則した保証債務整理の申入れをいただいた場合は、「経営者保証に関するガイドライン」に基づき誠実に対応いたします。

※詳細については、当金庫ホームページをご覧ください。

(9) 経営支援(再生・改善) 事例

●業種：製造業 ●創業後年数：39年

経営支援前の 企業の状況

昭和52年5月に個人創業、昭和54年4月に法人設立し、精密金属部品加工業を営む企業であります。ITバブルの崩壊の影響を受け債務超過に落ち込んだ時期がありましたが、その後は堅実に推移し債務超過を解消していきました。しかしながら、リーマンショックの影響により売上の急減を招き、再び債務超過に落ち込み、抜本的な改善が必要となりました。

経営支援の概要 (金庫の施策)

返済額の軽減、経営改善計画作成支援、外部専門家の導入など経営改善に協力してまいりました。その後、中小企業再生支援協議会による経営改善がスタートしました。その中で、主力機械の老朽化もあり生産性が向上しないことから、助成金を活用した設備更新による生産能力アップの要望がありました。メイン金融機関として、経営改善期間中ではありましたが、大型設備とそれを活かす技術に着目し、設備効果が十分見込まれることから、融資支援を進めております。

経営支援の概要 (当該企業の施策)

大型設備の導入による生産性の改善、外注加工費の低減(内製化)、原価・採算管理の仕組みの導入により、収益性向上を図る計画としております。
設備効果としては、
○機械の不具合、修理に伴う費用発生の回避、及び一時設備停止による生産性低下の回避
○外注加工費の低減の加速
○製品の品質の維持・向上 をあげております。

経営支援後の 企業の状況

機械設備更新完了後は、外注加工費の低減(内製化)、原価・採算管理の仕組みの運用、大型設備の導入による生産性の改善の実施により、効率的な経営を行い、機械設備更新完了後は、初年度から経常損益の黒字化を見込んでおります。

(10) 経営改善支援等の取組み実績

	期初 債務者数	うち 経営 改善支援 取組み 先数	αのうち	αのうち	αのうち	経営改善 支援 取組み率	ランク アップ率	再生計画 策定率	
			期末に債務 者区分が ランクアップ した先数	期末に債務 者区分が 変化しな かった先数	αのうち 再生計画を 策定した 先数				
	A	a	β	γ	δ	a/A	β/a	δ/a	
正常先 ①	12,478	10		7	5	0.1%		50.0%	
要注意先	うちその他要注意先 ②	2,638	317	8	245	224	12.0%	2.5%	70.7%
	うち要管理先 ③	56	24	6	11	4	42.9%	25.0%	16.7%
破綻懸念先 ④	1,041	94	1	72	51	9.0%	1.1%	54.3%	
実質破綻先 ⑤	169	0	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%	
破綻先 ⑥	53	0	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%	
小計(②～⑥の計)	3,957	435	15	328	279	11.0%	3.4%	64.1%	
合計	16,435	445	15	335	284	2.7%	3.4%	63.8%	

(11) 事業性評価などへの取組み

当金庫では、担保・保証に必要以上に依存することなく、お客さまの事業内容や成長可能性などを適切に評価した上で融資や助言を行い、お客さまの成長を支援しております。

また、常に変化している経済環境の中で、お客さまの状況を十分に把握して、お客さまのライフサイクルに合わせた解決をするために、ライフサイクルに合わせた融資商品を揃えとともに、補助金の積極的な取扱い、各種セミナーの開催、外部機関との連携強化などに取り組んでおります。

(12) 中小企業等への金融円滑化への取組みについて

中小企業金融円滑化法は平成25年3月31日に期限が到来しましたが、引き続き地域金融の円滑化に全力を傾注して取り組んでまいります。

● 貸付けの条件の変更等の申込みを受けた貸付債権の件数 (平成28年3月31日現在)

中小企業者 (単位:件)						住宅資金借入者 (単位:件)					
	申込み	実行	謝絶	審査中	取下げ		申込み	実行	謝絶	審査中	取下げ
件数	52,511	49,711	1,181	347	1,272	件数	1,503	1,367	73	10	53

※詳細については、当金庫ホームページをご覧ください。

3 地域の活性化に関する取組み状況

(1) 「とうきょう中小企業支援ファンド」

当金庫は、中小企業基盤整備機構および東京都内地域金融機関などと共同で「とうきょう中小企業支援ファンド投資事業有限責任組合」(総額25億円)を設立して、中小企業の経営改善支援等に対し積極的に取り組んでおります。

(2) 「下町ボブスレー」 ジャマイカ代表採用決定

「下町ボブスレープロジェクト」は、大田区内の中小企業が製品加工に協力し、加工・溶接・板金・ばね等の精度やものづくりを熟知した組み合わせの技術により高精度な製品を生み出し、日本人によるメイド・イン・ジャパンとなる国産マシンを開発しております。

当金庫は、町工場の力を証明することができるものと信じ、地元金融機関として「下町ボブスレープロジェクト」を全面的に支援・協力しております。

このたび、ジャマイカ代表が下町ボブスレーの採用を決定し、2018年の韓国ピョンチャン五輪を目指すことになりました。



下町ボブスレー

経営改善支援及び地域活性化のための取組みについて

(3) 「さわやか景況レポート」の発行

取引先の経営に役立てていただくために、地域の景気動向などを調査・分析した「さわやか景況レポート」を、四半期ごとに作成しております。調査方法は、製造業、卸売業、小売業、サービス業、建設業、不動産業の6業種を対象に、当金庫職員が取引先に訪問し、現状の景況感や今後の見通しなどについて聞き取り調査し、分析した結果をレポートとしてまとめております。今後も取引先に役立つ情報を発信してまいります。

なお、本レポートは、当金庫ホームページからもご覧いただけます。



さわやか景況レポート

(4) 大田区ビジネスプランコンテスト

大田区ビジネスプランコンテストは、ものづくりの集積地として認知されている大田区の事業創業を支援し、潜在能力を引き出すことを目的として大田区と公益財団法人大田区産業振興協会と共催しております。

当金庫は後援団体として「さわやか信用金庫賞」を提供しております。

- 第7回大田区ビジネスプランコンテスト さわやか信用金庫賞
「容量可変容器の開発と事業化」 株式会社バリューサーチ様



大田区ビジネスプランコンテスト

(5) 第5回ウーマズビジネスグランプリへの協賛

品川区では、女性の起業の可能性について広く周知し、優れたビジネスプランを発掘することを目的に、「ウーマズビジネスグランプリ」を開催しております。

当金庫は協賛として、「さわやか信用金庫賞」を提供しております。

- さわやか信用金庫賞
楽器オルゴール販売 秀島えみ様

ウーマズビジネス
グランプリ



(6) さわやか納税応援定期積金「備(そな)エール」と さわやか消費税納税ローンの取扱い開始

平成28年1月15日より、新商品のさわやか納税応援定期積金「備(そな)エール」と「さわやか消費税納税ローン」のお取扱いを開始いたしました。

この新商品は、当金庫総代や商店街理事長等の方々から今後の消費税の引上げに備えるため、納税用の預金および融資商品の開発を相談されたことから、実現した商品であります。また、麻布税務署・芝税務署管内の関係民間十二団体ならびに公益社団法人雪谷法人会および公益社団法人雪谷間税会から、消費税の円滑な納税を支援する商品として推奨されております。



さわやか
納税応援定期積金
「備(そな)エール」 ちらし

(7) 出前講座の開催

当金庫では、地元のお客さまのニーズにお応えして、本部スタッフが様々な講座を「出前」しております。

その一例として、四谷支店のお客さまからのご依頼により、相続に関する出前講座を開催いたしました。



出前講座

(8) 「株式会社さわやかリサーチ」の設立

地域やお客さまの課題を解決していくためには、地域の情報だけでなく、グローバルな情報も含めた収集・分析が、これまで以上に重要となってまいります。そのため、当金庫では、金融経済動向や地域別動向などを調査・分析する専門の子会社「株式会社さわやかリサーチ」を平成28年1月に設立いたしました。

お客さまとも情報を共有していきながら、お客さまの課題解決や新たな挑戦を、これからも全力でサポートしてまいります。